

(28) 葉ごぼう

防除法	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 うどんこ病 <i>Sphaerotheca fusca</i>	1. 窒素肥料の過多は本病の発病を助長するので、施肥基準に従って適正に施用する。 2. 昼夜の温度差が大きくなると発病が多くなる。	発病初期	11	アミスター20フロアブル
2 菌核病 <i>Sclerotinia Sclerotiorum</i>	1. ポリマルチや敷わらを行う。 2. 多発圃場では、収穫後に湛水し、土壌中の菌核を死滅させる。 3. 連作を避ける。	発病初期	2	ロブラール水和剤
3 黒条病 <i>Itersonilia perplexans</i>	1. 健全な種子を使う。 2. 密植したり、過繁茂にならないようにする。 3. 病葉は圃場外に持ち出し、処分する。	発病初期	3	ラリール水和剤
4 アブラムシ類	1. 圃場の周辺に防虫ネットを高さ1.3mぐらいいはったり、シルバーポリマルチ、シルバーストライプマルチ、シルバーテープをするとアブラムシの飛来が少ない。 2. 施設栽培では、ハウス開口部に防虫ネット(1mm目合以下)をはり、成虫の飛来を防止する。 3. 周辺雑草を処理する。	播種時	4A	スタークル粒剤
		発生初期	3A 4A 4A	アデイオン乳剤 アドマイヤーフロアブル スタークル粒剤
5 ネキリムシ類	1. 被害株周辺を軽く掘り、幼虫を見つけしだい捕殺する。	播種時～ 子葉展開期	1B	ネキリエースK
6 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2. 施設栽培の場合、飛び込み防止のため防虫ネット(4mm目合以下)で被覆する。	発生初期	13	コテツフロアブル